

臨床歯科学入門

責任者：岸 光男 教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）
副責任者：藤村 朗 教授（解剖学講座 機能形態学分野）

担当講座（分野）：口腔保健育成学講座/歯科矯正学分野、口腔保健育成学講座/小児歯科学分野、口腔顎顔面再建学講座/口腔外科学分野、口腔顎顔面再建学講座/歯科麻酔学分野、口腔顎顔面再建学講座/歯科放射線学分野、補綴・インプラント学講座/補綴・インプラント学分野、歯科保存学講座/う蝕治療学分野、歯科保存学講座/歯周療法学分野、口腔医学講座/予防歯科学分野、解剖学講座/機能形態学分野、解剖学講座/発生生物・再生医学分野、生理学講座/病態生理学分野、生化学講座/細胞情報科学分野、病理学講座/病態解析学分野、微生物学講座/分子微生物学分野、薬理学講座/病態制御学分野、医療工学講座、口腔医学講座/関連医学分野

第1学年 前期・後期

	講義
前期	15 時間
後期	18 時間

教育成果（アウトカム）

歯科医学では歯科特有の疾患の予防と治療を扱う臨床歯学を最終目標として学ぶが、その予防法や治療法はすべて体の構造・機能や病因・病態ならびに治癒機構を扱う生命科学に立脚していなければならない。すなわち、歯科臨床は基礎歯学の知識の上に成り立っている。本講義では歯科臨床で直面している様々な問題点を提起し、その問題点を理解するための基礎歯科学的思考法を身につけることを目的としている。

（ディプロマ・ポリシー：5、6、7、8、9）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月14日(水) 3・4限	飯島伸助教 (口腔顎顔面再 建学講座/口腔 外科学分野) 藤村 朗教授 (解剖学講座/ 機能形態学分 野)	口腔外科の手術と智歯抜 去 口腔外科で行っている手 術の概要と智歯抜去の難 しさを理解する。	1. 智歯抜去の理由を列挙できる。 2. 智歯抜去の方法を概説できる。 3. 口腔外科手術の種類を概説できる。 4. 手術に必要な解剖を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月21日(水) 3・4限	佐々木大輔講師 (歯科保存学講座/歯周療法学分野) 下山佑講師 (微生物学講座/分子微生物学分野)	歯周病の原因 歯周病の進行と歯周病原細菌の関わりを理解する。	1. 歯肉炎, 歯周炎の原因を概説できる。 2. 歯周病の特性を概説できる。 3. 歯周病と歯周病原細菌の関わりを概説できる。
6月28日(水) 3・4限	遠藤千恵助教 (口腔顎顔面再建学講座/歯科麻酔学分野) 田村晴希講師 (薬理学講座/病態制御学分野) 深見秀之助教 (生理学講座/病態生理学分野)	歯科治療における全身管理 精神鎮静法を用いた歯科治療を理解する。	1. 歯科治療における全身管理の意義を概説できる。 2. 麻酔・鎮静法を列挙できる。
7月5日(水) 3・4限	金村清孝准教授 (補綴・インプラント学分野) 深見秀之助教 (生理学講座/病態生理学分野) 藤原尚樹准教授 (解剖学講座/発生生物・再生医学分野)	過重咬合の弊害 歯を食いしばることの意味を理解する。	1. 過重咬合圧による疾患を列挙できる。 2. 歯の咬合圧負担のメカニズムを概説できる。 3. 歯根膜の組織構造を概説できる。
7月12日(水) 3・4限	高橋徳明助教 (口腔顎顔面再建学講座/歯科放射線学分野) 藤村朗教授 (解剖学講座/機能形態学分野)	最新の画像検査 新しいエックス線検査の種類とその理論を理解する。	1. 画像検査法を大別できる。 2. CT検査の意義を概説できる。 3. 画像の読影に必要な解剖学的構造を簡略に説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月20日(水) 3・4限	岸光男教授 (口腔医学講座/ 予防歯科学分野) 加茂政晴准教授 (生化学講座/ 細胞情報科学 分野)	口臭の原因と測定 身体状況を反映する検査 値としての口臭を理解す る。	1. 口臭の臭気物質生成過程を概説する。 2. 臭気物質の測定法を列挙する。 3. 液相と気相の物質計測法の差違を考察す る。 4. 代表的な身体状況を表す測定項目とその 測定法を列挙する。
10月18日 (水) 3・4限	近藤尚知教授 (補綴・インプ ラント学分野) 平雅之准教授 (医療工学講 座) 石崎 明教授 (生化学講座/ 細胞情報科学 分野)	インプラント治療 歯を失ったときの治療法 を考える。	1. 歯の補綴方法を列挙できる。 2. 生体材料について概説できる。 3. 骨の再生を説明できる。
11月8日(水) 3・4限	浅野明子講師 (歯科保存学講 座/う蝕治療学 分野) 三上俊成准教授 (病理学講座/ 病態解析学分 野)	頭頸部癌患者の周術期管 理 癌の発生機序と癌患者の 口腔管理について理解す る。	1. 悪性腫瘍の発症機序について説明できる。 2. 癌患者の口腔管理について理解できる。
11月22日 (水) 3・4限	丸谷由里子講 師 (口腔保健育成 学講座/小児歯 科学分野) 佐々木実教授 (微生物学講 座/分子微生物 分野) 三上俊成准教 授 (病理学講座/ 病態解析学分 野)	齲蝕の進行過程を追う 齲蝕の進行を齲蝕原性細 菌の感染と齲蝕病変の歯 と歯周組織への波及とい う観点から理解する。	1. 齲蝕病変進行の病理を概説できる。 2. 口腔フローラと齲蝕病原性細菌について 説明できる。 3. 齲蝕原性細菌の伝播を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月29日 (水) 3・4限	間山寿代講師 (口腔保健育成 学講座/歯科矯 正学分野) 大津圭史講師 (解剖学講座/発 生生物・再生医 学分野)	歯数・形態の異常と歯の発 生のメカニズム 歯数・形態の異常と歯の発 生のメカニズムの関連性 を理解する。	1.歯数と形態の異常を概説できる。 2.歯の発生のメカニズムを概説できる。 3.歯の再生研究の意義を概説できる。
12月20日 (水) 3・4限	千葉俊美教授 (口腔医学講座/ 関連医学分野) 野村太郎講師 (補綴・インプラ ント学分野) 玉田泰嗣助教 (補綴・インプラ ント学分野)	高齢者に対するアプロ ーチ 高齢者の全身状態、口腔 内、嚥下機能の変化とその 対応を理解する。 可撤性義歯の特徴を理解 する。	1.高齢者の全身状態の特徴を説明できる。 2.高齢者の口腔内および嚥下機能の変化と対 応を説明できる。 3.有病高齢者の特徴を説明できる。 4.可撤性義歯の特徴を説明できる。

成績評価方法

テーマごとに課すレポートにより総合的に判断する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[臨床歯科学入門]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
プレゼンテーションマウス ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーシ ョン
メディカルビデオレコーダ ー UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレイ 一式	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーシ ョン作製
ノートパソコン 一式 PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーシ ョン
ノートパソコン CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーシ ョン
CEチェア RXタイプ CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーシ ョン作製
Macmini CoreI5 MGEQ2JA(SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーシ ョン作製
一眼レフカメラ EOS80D(SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
窓用エアコン	CWA1816	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン ProBook Notebook PC	450 G2	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成